

# 故事成語 — 大器晩成

道に明らかなるものは味きが若く、

道を進むものは退くが若く、

夷道は類なるが若く、

上徳は俗なるが若く、

大白は辱れたるが若く、

広徳は足らざるが若く、

建徳は偷なるが若く、

質真は渝なるが若く。

大方は隅無く、大器は晩成し、

大音は声希く、大象は形無し。

道隠れて名無し。

夫れ唯だ道のみ善く貸し且つ成す。

〈『老子』より〉

道に詳しい人は知識のない人のように見え、

道を進む人は退く人のように見え、

平らな道は凸凹道のように見え、

最上の徳が備わっている人は俗人のように見え、

真に潔白な人は汚れている人のように見え、

広大な徳が備わっている人は知恵のない人のように見え、

確かな徳が備わっている人は悪賢い人のように見え、

質素で誠実な人はこびへつらう人のように見える。

大きな四角形は角が見えず、大きな器は遅くまでできあがらず、

大きな音はその響きが聞き取れず、大きな像は形として認識できない。

道は人の目に映らず名づけようのないものだ。

そもそも道だけが万物に力を貸し与え万物を形づくっている。